

# HELLO!!!



●国際交流員  
ドレーン・アルント  
Doreen Arndt

## 日本に来て気付いた ドイツと日本の違い

### ●その1 交通安全と交通ルール

平成16年(2004年)に内子町に来る直前、ドイツで自動車の運転免許を取りました。でも、免許を取ったばかりなので、日本ですぐに運転することはできませんでした。19年に帰国した時も、一度も運転しませんでした。

昨年、再び内子町に帰ってきてから車が手に入り、それから人生で初めて本格的に運転することになりました。

運転するようになってから、交通安全と交通ルールに対してとても敏感になり、ルール違反についても厳しく考えるようになりました。

そこで、今まで気付いたこと、そしてドイツと日本の違いをまとめてみました。(気付いたことはまだまだありますが、書き続けると腹が立ってしまうので、この辺でやめておきます。)

内子町の皆さんに、交通安全や交通ルールについて、あらためて考え、振り返ってほしいと思います。わたしたちの人生は一度きりで、身体は宝物です。その宝物を大切にしなければいけません。もっと交通ルールを守りましょう!

	日本	ドイツ
免許の取得方法	日本での取得方法は詳しく分かりませんが、日本の教習場は遊園地みたいに思えます。また、ときどき一般の道路を通行中に「練習中」という大きなサインを付けている車を見かけます。	理論(交通ルールなど)の勉強の約半分が終了すると、実際に道路に出て運転を練習します。「練習中」というサインはありません。でも、先生側の席にはすべてのペダルがあります。
シートベルト	運転席と助手席ではシートベルトを締めています。後部座席ではあまり締めていません。わたしは後部座席にシートベルトがない車に乗ると、落ち着くことができません。	シートベルトを締めないことは考えられません。1984年から全席でのシートベルト着用が義務付けられました。違反者には30ユーロ(約3,000円)の罰金が課されます。
チャイルドシート	子どもに対し、チャイルドシートやシートベルトを使用していない車をよく見かけます。保護者の膝に抱き上げられていたり、助手席で立っていたりする子どもをよく見かけます。非常に無責任だと思います。	子どもは12歳までチャイルドシートに乗せないといけません。違反すると、40ユーロ(約4,000円)の罰金と違反点数(1点)が加算されます。
高速道路	愛媛県の高速道路はほとんどが1車線で、駐車線がなく、最高時速は80km/h、対向車線との間にはプラスチックのポールしかありません。	ドイツの高速道路は少なくとも2車線と駐車線があり、対向車線の間には最低でも金属の板(壁のようなもの)があります。ほとんどの区間は無制限ですが、一般の時速は120km/hです。
横断歩道	わたしが一番信じられないのは、横断歩道が無視されていることです。車よりも歩行者の方が弱くて優先されるはずなのに、わたしはもう何回も車にひかれそうになりました。横断歩道が見えないのですか? 車に乗っている人の方がえらいのですか? 横断歩道は飾りですか?	歩行者が最優先であり、横断歩道では手前で車を停止しなければいけません。停止せずに通過すると厳しく罰せられ、80ユーロ(約8,000円)の罰金が課されます。当たり前のことですが、歩行者より車の方が強いので、歩行者の方が生き残るチャンスが少ないのです。